

平成25年度事業報告書

〔平成25年4月 1日から
平成26年3月 31日まで〕

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの当財団の平成25年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成25年度は、以下のとおり各事業を実施しました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、下記の特別展やイベント等を開催したほか、施設の改良、展示物の更新等を行いました。

本年度の入館者数については、博物館周辺の公共施設等に特別展やイベント開催のポスター掲出場所を提供していただくとともに、情報提供媒体として新たにスマートフォン向けウェブサイトを追加しましたが、2月の記録的な大雪の影響等もあり、156千人（対前年度比0.6%減）となりました。

(1) 特別展の開催

ア 「地下鉄利用の変遷展～乗りやすい わかりやすいを時代とともに～」の開催

(平成25年6月18日～8月4日開催)

日本で最初の地下鉄は、昭和2年（1927年）12月、上野～浅草間（2.2km）に開通した東京地下鉄道株式会社の路線（現在の銀座線の一部）でした。開通当時の運賃は、均一料金で、利用するためには切符を購入するのではなく、

ターンスタイルによる自動改札機に直接10銭白銅貨を投入する方法でした。その後、乗車券や定期券等が登場し、戦後の相次ぐ地下鉄建設・開通に伴い、路線もネットワーク化され、運賃制度も変化してきました。また、駅の安全性や使いやすさを高めるため、様々な施設や設備が導入され、さらに郊外の路線との相互直通運転によって利用者の利便性は大きく変化しました。

この特別展では、日本で最初の地下鉄が開通してから今日に至るまでを3つのエリアに区分し、地下鉄出入口、運賃制度や乗車券の移り変わり、乗車方法の変遷等を写真パネル等により紹介しました。

イ 「日本の主要都市における地下鉄開通の歴史展」の開催

(平成25年1月19日～平成26年1月13日開催)

東京を始めとして高度に発達した大都市では、交通需要が増大し、これに対処するため、地上交通だけではなく、地下においても鉄道が敷設されるようになりました。地下鉄は、多くの人々をより速く、よりスムーズに運ぶことができ、現在では人々の暮らしや企業活動に無くてはならない交通機関となっています。

昭和2年(1927年)12月に日本で最初の地下鉄が東京で開通し、その後、昭和8年(1933年)5月には東京に次いで2番目の地下鉄が大阪で、そして戦後になると名古屋市、札幌市、神戸市等と順次主要都市にも地下鉄が広がっていきました。

この特別展では、主要都市における地下鉄建設の背景や開通の歴史、特徴等を写真パネル等により紹介しました。

なお、特別展開催に当たっては、地下鉄を運営する9都市10事業者(各都市の交通局及び東京地下鉄(株))並びに一般社団法人日本地下鉄協会のご協力をいただきました。

ウ 「地下鉄における地下空間の秘密展」の開催

(平成26年3月11日～4月20日開催)

地下鉄が建設されたことにより、新たな地下空間が生まれ、そこには地下鉄運行に必要な施設や設備があり、また、憩いの場や商業施設など様々なものが存在しています。地下の構造物等については、普段、目にするものから、目にするできないもの、さらには現在使われていないものなどがあります。

この特別展では、地下空間にどのような秘密が隠されているのかを、①トンネルを掘る時の秘密、②地下を走る路線や車庫の秘密、③人の行き交う駅や通路の秘密、④地下空間の利用の秘密、の4つの秘密に区分して写真パネル等により紹

介しました。

エ 「丸ノ内線開業60周年記念展～戦後を走った赤い電車～」

(平成26年1月4日～1月31日開催)

丸ノ内線は、昭和29年(1954年)1月池袋～御茶ノ水間が開業し、平成26年(2014年)1月に60周年を迎えることになり、これを記念して、新規企画であります。館内に常設展示している丸ノ内線実物車両300形(301号車)を使用して、通常の特別展より小規模なミニ特別展を開催しました。

丸ノ内線開業の歴史や、当時の路線や周辺地域の風景写真等をパネル等により紹介しました。

(2) イベントの実施

入館されたお子様やご家族に楽しんでいただけるよう、入館者の多い春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、鉄道の日、冬休みの各期間を捉えて、「映画の上映」、「館内クイズラリー」、「館内キッズツアー」、「ミニセミナー」、「電車と競争!パズルに挑戦」、「館内探検クイズ」、「博物館フィッシング大会」等のイベントを実施しました。

(3) 教育実習活動の実施

学芸員資格取得のための博物館実習のほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習(チャレンジ・ザ・ドリーム)の受入れ等教育実習活動を行いました。

また、新規に東京都市大学附属中学校からの要請による企業研究講座の開設や昭和鉄道高等学校からの要請による職場体験学習を行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保存及び公開

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存しました。また、これまでデータベース化した貴重な資料を活用し、広く一般に公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充のため地下鉄車両アルバム等の公開や画像の更新を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

東西線高架下のお客様専用駐車場に隣接する用地を東京地下鉄(株)から新たに借用し、駐車スペースの拡大と博物館所蔵品の保管及び災害時の非常用品等の備蓄

のための倉庫を新設しました。また、経年劣化により故障等が発生している入館券発売用の自動券売機2台について、交通系電子マネー対応型の機種に更新しました。その他の展示物等についても、経年劣化に対応した更新等を行いました。

地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、本年度も多くのお客様にご来館いただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出のポスター、携帯サイト等、各種媒体を通じて特別展やイベントの開催等を紹介しました。また、テレビ局、新聞社・雑誌社等のメディアの取材、インタビューにも積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進しました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホールにおいて、メトロコンサートを次のとおり年3回（各午前と午後の2回）開催しました。

・第55回 メトロコンサート

“心に響く日本の歌”（平成25年6月8日開催）

出演：今野尚美と仲間たち（ピアノ、マリンバ他）

来場者 183名

・第56回 メトロコンサート

“Viva! パーカッション”（平成25年12月14日開催）

出演：Mallet Garden With 一村誠也（マリンバ&パーカッション、フルート他）

来場者 307名

・第57回 メトロコンサート

“弦楽四重奏とソプラノコンサート”（平成26年1月11日開催）

出演：東京都交響楽団メンバー他

来場者 221名

(2) 「メトロポリス・クラシックス」コンサートの開催

気軽にクラシック音楽を楽しんでいただくため、当財団ホームページやメトロニ

ユース等で参加者の募集を行い、25,319名の応募者の中から厳選のうえ、2,000名を招待し、東京芸術劇場において、次のとおりコンサートを開催しました。

- ・第8回「メトロポリス・クラシックス」コンサート

(平成25年10月19日開催)

誰もが一度は耳にしたクラシック音楽の名曲が味わえる贅沢なスペシャルプログラム “心に残る思いでの名曲コレクション”

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 1,680名

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を次のとおり年7回開催しました。

- ・第50回 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢医療センター

(平成25年6月12日開催)

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 226名

- ・第51回 社会福祉法人東京栄和会千代田区立一番町特別養護老人ホーム

(平成25年7月17日開催)

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 75名

- ・第52回 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

(平成25年9月3日開催)

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 136名

- ・第53回 社会福祉法人聖風会台東区立特別養護老人ホーム台東

(平成25年9月25日開催)

出演：ララ・カンツォーネ 来場者 62名

- ・第54回 東京都立文京盲学校 (平成25年10月2日開催)

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 53名

- ・第55回 社会福祉法人 フロンティア特別養護老人ホーム 山吹の里

(平成25年11月6日開催)

出演：ララ・カンツォーネ 来場者 61名

- ・第56回 東京都立久我山青光学園 (平成26年1月29日開催)

出演：東京都交響楽団メンバー他 来場者 310名

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、優秀作品等を選び、駅構内等に展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品の募集を当財団のホームページやメトロニュース等で行った結果、9,520点の応募がありました。3名の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び、「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

- ・ 第一次展示（「鉄道の日（10月14日）」を挟む平成25年10月5日から10月16日まで）
優秀作品（特選）30点を銀座駅コンコースに展示
優秀作品（特選を除く）270点を日本橋駅コンコースに展示
 - ・ 第二次展示（平成25年10月18日から10月25日まで）
奨励賞作品300点を日本橋駅コンコースに展示
 - ・ 第三次展示（平成25年10月29日～11月10日まで）
優秀作品（特選を含む）300点を地下鉄博物館に展示
- 審査員： 大石法枝氏（新象作家協会委員）
小野孝一氏（現代童画会常任委員）
川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域等を撮影する喜びを体験していただくため、当財団ホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり年2回開催しました。また、撮影作品の中から選考のうえ、日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 写真の部」として展示しました。

(ア) 第32回 写真教室及び撮影会（平成25年5月18日開催）

場 所：旧古河庭園 応募者数 112名 参加者 41名
講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）
作品展示：82点を展示（平成25年7月20日から7月29日まで）

(イ) 第33回 写真教室及び撮影会（平成25年10月12日開催）

場 所：江戸川区自然動物園（行船公園内）
講 師：同 上 応募者数 64名 参加者 41名

作品展示：82点を展示（平成26年1月18日から1月27日まで）

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を春と秋の2回、当財団ホームページやメトロニュース等で行い、選定された優秀作品を、電車内ポスターに掲出するとともに、「写真の部」と同時に日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 文学の部」として展示しました。

(ア) 作品募集と掲出

第17回 募集（平成25年4月1日から5月31日まで）

応募・掲出作品：279編（199名）の中から6作品を電車内に掲出

第18回 募集（平成25年10月1日から11月30日まで）

応募・掲出作品：207編（126名）の中から6作品を電車内に掲出

(イ) 作品選定

選者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

(ウ) 作品展示

第17回作品を平成25年7月20日から7月29日まで展示。

第18回作品を平成26年1月18日から1月27日まで展示。

(5) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を次のとおり年2回開催しました。

ア 第22回 歴史教室・歴史散歩（平成25年11月9日開催）

場 所：武家屋敷跡と寺町を歩く（高輪界限）

応募者数 100名 参加者 37名

講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第23回 歴史教室・歴史散歩（平成25年11月23日開催）

場 所：同 上

応募者数 71名 参加者 43名

講 師：同 上

(6) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示は、地元豊島区と当財団が分担して行い、当財団は平成25年6月1日から6月27日までの間、平成24年度における東京藝術大学美術学部・大学院美術研究科の「卒業・修了作品展」の中で、優秀賞に選ばれた方の作品を展示しました。また、平成25年6月29日から7月30日までの間、「江戸・東京の緑と花の風景」と題して、東海道の海岸筋の風景を描いた絵巻や夏の風物の一つである団扇絵などを展示し、さらに平成25年12月27日から平成26年1月30日までの間、「花開く浮世の世界」と題して、江戸の豊かな四季、名所や風俗を描いた江戸歌舞伎の絵看板のほか、浮世絵版画（復刻版）を展示しました。

(7) パブリックアートの設置

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、「パブリックアート」を平成25年8月26日に有楽町線豊洲駅に設置しました。設置した「パブリックアート」は、地元豊洲地区の今昔をイメージした陶板レリーフです。

これにより当財団が設置し、管理する「パブリックアート」は、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品の合計3駅4作品となりました。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内等に掲出しました。

なお、本年度は「マナーはココロ」をキャッチフレーズにお客様のちょっとした「思いやり」や「気づかい」によってマナーが向上し、地下鉄をより快適にご利用いただけるような内容となっております。デザインは、ポスター中央部分にお客様のココロを示すハートを表し、そのハートの中に毎月のマナーテーマを優しさとユーモアを兼ね備えた柔らかいタッチのイラストで表現しています。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解

説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び主要駅に常置し、配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、駅施設見学、駅員・乗務員との交流及び地下鉄博物館での「日本で最初の地下鉄物語」と「マナーポスターの歴史」と題したセミナーを行う「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第13回 鉄道教室（平成25年8月24日開催）

場 所：東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館
応募者数 394名 参加者 78名

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

4 本館建物の建替について

当財団が所有する本館建物は、昭和49年7月に竣工し、その後の経年劣化に対応するため、当初平成36年度に建替を行う計画としておりましたが、本建物は、現在の耐震基準を満たしていないことから早期の耐震化につきましても検討してまいりました。

検討の結果、東日本大震災以降、首都直下地震の被害想定等が公表される中、安全上、早期に建替を行うこととし、平成25年8月に既存建物の解体に着手し、解体終了後、平成26年1月から新本館の建築に着手し、平成27年1月の竣工を予定しております。

以 上

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 平成25年度第1回(平成25年4月16日決議の省略の方法による)

ア 「評議員会招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(2) 平成25年度第2回(平成25年4月30日決議の省略の方法による)

ア 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(3) 平成25年度第3回(平成25年6月3日開催)

ア 「平成24年度事業報告及び決算報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「財団本館建物の建替に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(4) 平成25年度第4回(平成25年6月11日決議の省略の方法による)

ア 「規程類の制定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(5) 平成25年度第5回(平成25年6月19日開催)

ア 「代表理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(6) 平成25年度第6回(平成25年7月9日決議の省略の方法による)

ア 「評議員会招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「主たる事務所の移転に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(7) 平成25年度第7回(平成26年3月19日開催)

ア 「平成26年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 平成25年度第1回臨時評議員会(平成25年4月22日決議の省略の方法による)

ア 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決いたしました。

(2) 平成25年度定時評議員会(平成25年6月19日開催)

ア 「平成24年度事業報告及び決算報告に関する件」について審議し、原案どおり可決いたしました。

イ 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決いたしました。

ウ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決いたしました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

(3) 平成25年度第2回臨時評議員会(平成25年7月18日決議の省略の方法による)

ア 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「監事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

3 官庁事項

内閣府への届出事項は、次のとおりであります。

(1) 平成25年5月 9日 理事変更届出

(2) 平成25年6月25日 理事、代表理事及び評議員変更届出

(3) 平成25年6月28日 平成24年度事業報告等の提出

(4) 平成25年8月 6日 監事、評議員及び主たる事務所の所在場所変更届出

(5) 平成25年8月28日 パブリックアート設置変更届出

(6) 平成26年3月24日 平成26年度事業計画書等の提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成25年5月 1日・篠原新治理事就任登記
- (2) 平成25年6月19日・土坂泰敏理事及び代表理事辞任、梅崎壽理事及び代表理事就任登記
小坂彰洋評議員辞任、川田博之評議員就任登記
- (3) 平成25年7月30日・増井健人監事辞任、巻島豊評議員辞任、巻島豊監事就任、小林秀徳評議員就任登記
・主たる事務所の所在場所変更登記

5 役員

- (1) 平成25年5月 1日・篠原新治理事就任
- (2) 平成25年6月19日・梅崎壽理事及び代表理事就任
- (3) 平成25年7月25日・巻島豊監事就任

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	梅 崎 壽
理 事 長	梁 川 卓
専務理事	竹 内 良 治
理 事	荒 井 邦 雄
理 事	篠 原 新 治
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嗟 峨 子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	鵜 澤 秀 行
監 事	巻 島 豊

(理事 11名、監事 2名)

6 評議員

- (1) 平成25年6月19日・川田博之評議員就任

(2) 平成25年7月25日・小林秀徳評議員就任

今期末における評議員は、次のとおりであります。

川 田 博 之、 小 林 秀 徳、 實 方 健、 鈴 木 章 生
辻 恵 子、 花 上 嘉 成、 平 野 直 樹、 山 田 徹
湯 座 正 和、 若 林 功

(10名)

7 従業員

今期末における従業員数は、34名であります。

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年6月

公益財団法人 メトロ文化財団